

# 南砺市文化芸術振興基本計画

## 概要版



### 文化芸術振興基本計画とは...

平成 28 年 4 月より南砺市文化芸術振興基本計画が施行されました。  
この計画は市の文化芸術に対する施策の基本的な方向性を定めるものです。  
ここで定めた方向性を軸に、今年度「南砺市文化芸術振興実施計画」を  
策定し、施策を具体化していきます。  
この計画を推進するにあたり、市民の皆様のご理解、ご協力をよろしく  
お願いいたします。

平成 28 年 4 月



富山県南砺市

# I 計画策定にあたって

## 1. 計画策定の背景と意義

南砺市は、伝統文化と創造的な文化の共存が評価され、平成22年度に文化庁長官表彰\*「文化芸術創造都市」を受賞しました。

これほど高い評価を受ける南砺の文化芸術は、南砺市民の心の拠り所であり、他にないすばらしい魅力を持っています。これらを活用することで、産業・地域コミュニティの発展や市民の「郷土愛」を育み、ひいては交流人口の増大、持続可能な地域の発展にも結びつけることができます。

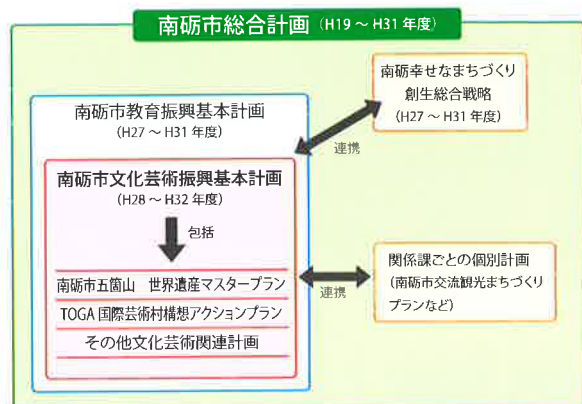
本計画では、「文化芸術創造都市」受賞を契機として文化芸術活動をより発展させ、市民生活をより豊かにすると共に、これからの地域づくり（地方創生）に文化芸術を生かしていく具体的な方向性を定めるものです。

## 2. 計画の目的

本計画を策定することにより、明確な未来のビジョンを見据えた文化政策を行うことができます。この計画が文化行政の方向性を示すことで、計画的かつ有効な施策の実施が可能となり、方向性を市民と共有し、市の文化芸術を振興することを目的としています。

## 3. 計画の位置づけ (図1)

本計画は「南砺市教育振興基本計画」に包括されています。さらに、本計画が包括している計画として「南砺市五箇山世界遺産マスタープラン」、「TOGA 国際芸術村構想アクションプラン」があります。



(図1) 南砺市文化芸術振興基本計画の位置づけ

## 4. 計画期間

平成28年度から平成32年度までの5年間です。ただし、本計画の進捗状況や総合計画の改定に対応して見直すこととします。

## 5. 南砺市における文化芸術

### (1) 本計画における文化芸術 (図2)

本計画では、広範囲の「文化芸術」のなかで、「創造性が高い文化芸術」と「規範性が高い文化芸術」を主に対象としています。

「創造性が高い文化芸術」は1つの形式にこだわらない多様な表現形式を持つものです。一方、「規範性が高い文化芸術」は伝統文化に代表される、地域で共有し、暮らしや生業の中での行動基準となる継承性の強いものを指します。

本計画では、過去の蓄積を規範的な拠り所とする伝統的な文化の側面と、新たな意味を創造的に表現する側面を対象とし、それらが、暮らしの中で融合する方向性（新たな文化芸術創造）を見出していくことが必要であると考えています。



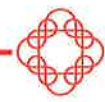
(図2) 本計画における文化芸術の分類

### (2) 地域の発展における文化芸術の重要性

現代の日本は人口が大きく減少し、ほとんどの地方自治体が人口減少に悩まされています。このような状況下で自治体が発展していくためには物質的な充実や利便性だけでなく、その自治体独自の魅力が必要です。市民共通の財産である、「南砺の文化芸術」は世界で唯一のものであり、地域固有の付加価値を持っています。市民が文化芸術の価値を理解し、「南砺らしさ」を活かすまちづくりを進めていくことで、南砺市はここにしかない独自の魅力を持つことができます。

\*「文化芸術創造都市」：文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む地方自治体に対して文化庁が表彰するもの。





## Ⅱ 現状と課題

### 1. 南砺市の文化的資源

本市には多くの文化芸術が存在します。長い歴史を持つ伝統文化と現代で生まれた創造的文化、さらには伝統工芸、芸術作品と多様なものが混在し、独自の文化的アイデンティティを作り上げています。

### 2. 現状・課題

本市の文化芸術の現状と課題を抽出するため、「文化フォーラム」の開催など住民との意見交換を行い、主要課題として、以下の3点に集約しました。

#### (1) 文化の担い手・後継者の育成

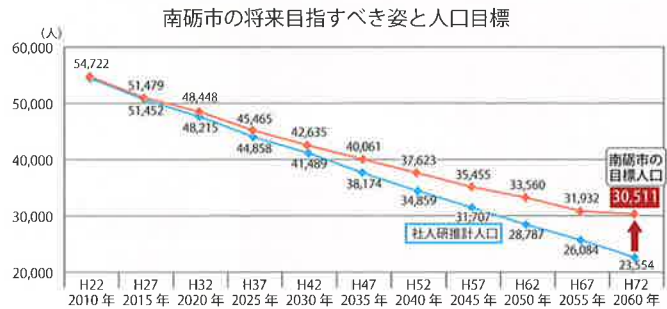
本市には伝統的祭事が数多く存在しますが、それらの多くが慢性的な担い手不足、後継者不足に悩まされています。

#### (2) 文化芸術の共通理解と価値共有

南砺の文化芸術の価値が市民に十分に浸透していないことや、他の地域・集落の文化に対する相互理解が進まないことも大きな課題です。

#### (3) 文化創造基盤となる地域コミュニティの再構築

人口減少による過疎化や社会構造の変化によって、これまで祭りを支えていた地域コミュニティや、地域における相互扶助の精神\*「結」「合力」などが衰退してきています。時代に応じた文化創造基盤として、地域コミュニティを再構築していく必要があります。



(図3) 南砺市の将来人口目標：「南砺市人口ビジョン」より抜粋

### 3. 現状・課題に対する新しい取り組み

このような現状や課題に直面する中でも、本市では市民、団体を中心に新たな方向性の萌芽となるような取り組みが展開されています。これら萌芽となる動きの間に相乗効果を生むようなネットワークの形成が必要となります。

#### (1) 町内・集落の枠を超えた新しい協力体制の構築

- 空き家に移住・定住した家族を地域の祭りの担い手とする（平：箆渡、相倉の獅子舞）
- 城端・井波・福野・福光の庵唄関係者で設立した南砺市庵唄伝承保存活動協議会

#### (2) 担い手のすそ野を拡大させる取り組み

- 小学校から高校までの一貫した五箇山民謡の後継者育成（平・上平など）
- 芸術家のたまごを育てるワークショップ等の開催（アートで遊ぼう事業、福光美術館の子供向けワークショップ事業など）

#### (3) 普及・啓発活動

- スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドにおける巨大人形のパレード
- 福野夜高行燈のフランス・リヨン遠征

#### (4) 文化芸術資源の活用

- 城端町家（古民家）を活用した交流事業
- SCOT サマーシーズン 2015 における南砺産食材を使用したフードゾーンの展開

#### (5) 伝統と現代の融合

- 伝統と歴史を織りまぜたアニメーション
- 斬新な発想の井波彫刻（龍剣ギター、ドア、表札など）

© 2008 true tears 製作委員会



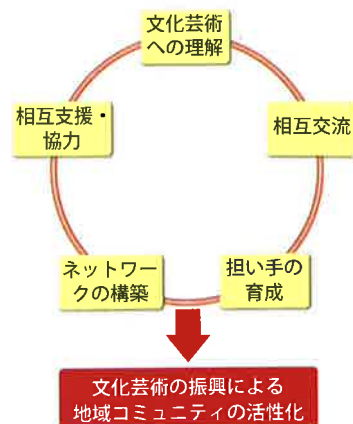
平成22年度 第60回城端むぎや祭のポスター

\*「結」「合力」：おかげさま、お互いさまといった相互扶助の仕組み本計画では他者との協力関係を築くという面に関して「結」と「合力」を同義として取り扱います。

#### 4. 文化芸術振興のための視点 (図4)

新しい取り組みを結びつけ、より持続的かつ創造的な活動を展開していくために、以下5つの視点を意識しながら、文化芸術を活かしたコミュニティの活性化を目指します。

- (1) 文化芸術への理解
- (2) 相互交流
- (3) 担い手の育成
- (4) ネットワークの構築
- (5) 相互支援・協力



(図4) 文化芸術振興のための視点

### Ⅲ 計画体系

#### 1. 基本方針と計画体系

本計画は基本方針と5つの基本目標、基本目標ごとの施策の方向性によって構成されています。

##### (1) 基本方針

この計画の全体的な方向性を示すものです。

ゆい      こうりやく      ネットワーク  
「結 (合力)」の力を「結ぶ力」に

本市は集落単位の相互扶助関係である「結」「合力」が伝統的に強い地域です。そのパワーを土台に文化と産業、現代芸術と伝統文化、地域と世界といった一見異なるジャンルのものを結びつけ新たな結＝協力体制を築き、地域活性化にも結びつく文化芸術振興を目指します。

##### (2) 基本目標

基本方針に沿って、本計画の柱となる5つの基本目標を設定しています。

##### (3) 施策の方向性

それぞれの基本目標を達成するための、施策の方向性が分野ごとに分けて示されています。



茅葺屋根の葺き替え

#### 2. 基本目標と施策の方向性

##### (1) 市民が創り上げる (日常的な) 文化芸術の再評価

市民にとって「当たり前のもの」が外から見たら「すばらしいもの」であり、すべての文化芸術的活動の中心には市民の日常の文化が存在していることを知っていただけるような取り組みを実施していきます

###### ① 日常的な文化芸術の再評価 — 意識・価値観の転換

###### (a) 「南砺の文化」の記録整理

各地域のあらゆる文化芸術に関する活動や情報を一元的に整理し、市民に公開・提供できる仕組みを検討し、興味関心を高めます。

###### (b) 地元地域での再評価・再発見

市民に対するきめ細かい情報発信を行うとともに、主催者側の祭事・イベントにかける想いや意気込みを市民に発信する取り組みを実施します。

###### (c) 南砺市美術展の充実・発展

南砺市美術展の価値をさらに高め、本市の芸術の質の高さ、作品のすばらしさを市民に伝える効果的な方法を「南砺市美術展実行委員会」と協議のうえ検討していきます。





## ② 世代や集落を超えた再評価 ― 外からの評価から価値を高める

### (a) 文化の価値を認識するシンポジウム・フォーラムの開催

市の文化芸術の価値認識を高めるため、本計画を着実に実施するとともに、啓発活動に努めます。

### (b) 伝統的祭事等のモチベーション向上機会の充実

文化芸術活動を行う上でのモチベーション向上、文化的価値を再評価する機会の提供を検討します。

## ③ 世界遺産の価値の共有

### (a) 世界遺産マスタープランの推進

平成24年度に策定した「世界遺産マスタープラン」を推進し、集落の保全や伝統文化・技術の継承に取り組んでいきます。

### (b) 世界遺産保存のための啓発活動

世界遺産を保存・継承していくために茅刈りや造成などへの民間企業や個人からの支援を拡大させます。



相倉合掌造り集落



菅沼合掌造り集落

## (2) 南砺市内の文化芸術活動団体同士のネットワーク構築

市民が相互に「誰が、どこで、どんな活動をしているか」を知り、市民同士の交流が活発化するような取り組みを進めていきます。

### ① 文化芸術活動団体の育成・支援

#### (a) ジャンルや目的を同じくした新たな団体の設立支援

市民の交流を深め、さらに文化芸術活動の輪を広げていくために、各種団体・集落・行政の壁を超えた団体の設立を目指します。

#### (b) 文化芸術活動団体を育む制度の構築

市民が自発的に団体を立ち上げ、自由な発想で文化芸術活動を行えるような環境づくりに努めます。

### ② 市民・文化芸術団体の交流促進

#### (a) 文化芸術を語り合える場の提供

情報交換、相互に求める支援関係の構築や新たな創造が生まれるような機会の提供を目指します。

#### (b) 新たな協力体制の構築

各地域で行われている様々な祭り・イベント主催団体同士の直接的な交流を促進し、相互の協力体制を築けるような取り組みを検討していきます。

## (3) 文化芸術活動のイニシアチブを執るリーダーの育成・人材発掘（担い手の発掘・育成）

未来の文化芸術を担う人材の育成や、集落や町内の文化を支える担い手発掘を実施し、長期的な後継者の確保を目指します。

### ① 創造的で熱意のある人をつなぐ・・・自然発生的文化創造

#### (a) 文化を「結ぶ」人材の発掘

文化・芸術活動のリーダーたちを「結ぶ（仲人をする）」ことのできる人材の情報を収集し、発掘していくことを目指します。

#### (b) リーダー・地域文化の担い手たちを「結ぶ」場の提供

斬新なアイデアが生まれ、それが自然と新しい文化創造活動に繋がることを目指した交流の場の設定を検討します。

### ② 人口減少を食い止める・・・地域に関心を持つ子どもたちの育成

#### (a) 次世代を担う子どもたちへの郷土愛の醸成

地域行事や祭り、家庭、食文化をとおして、子どもたちに地元の文化・祭りへの誇りを醸成し、地域への関心を高めていくことを目指します。

#### (b) 子ども体験型事業の充実

文化・芸術の担い手のすそ野を広げ、活動人口を増加させるため、子どもたちが文化・芸術に触れ、興味を持つきっかけとなるような事業の推進・拡大を検討し、本市の未来を担う創造的な人材の育成を目指します。



和紙アートコンクール



#### (4) 従来の地縁的な「結」に変わる「新しい結」の創生

地域・集落を超えて地域課題に向き合う同志（福祉や子育て活動等）、祭りや地域にかける想いを同じくする人々の「新たな結（ネットワーク）」を構築し、市全体ですべての文化芸術を支えていくことを提案します。

##### ① 集落を超えた「結（ネットワーク）」＝協力体制の構築

###### (a) 文化を守るセーフティ・ネットワークの構築

同じ地域課題に向き合う人々や地域にかける想いを同じくする人々を市内外から幅広く呼び掛け、担い手不足に陥っている集落や団体に派遣する仕組みづくりを検討します。

###### (b) 南砺から世界へ・・・セーフティ・ネットワークの更なる拡大

同じ地域課題に向き合う人々や地域にかける想いを同じくする人々でつながるセーフティ・ネットワークをさらに拡大させ、市の蓄積してきた文化的な厚みを全国・世界の祭り好きに向けて発信します。その中で生まれる多様な交流や新たな創造を契機として、国際的な文化の融合を図ります。同時に長期滞在によって市の気候・風土・伝統そして人情を理解してもらい、最終的には定住に結びつけられる仕組みづくりを目指します。

##### ② 広域的な「結（ネットワーク）」の構築

###### (a) 文化芸術創造都市間のネットワーク構築

「文化芸術創造都市」表彰を受けている市区町村、表彰を目指している市区町村と交流する機会を積極的に活用し、情報交換・連携体制の構築を推進していきます。

###### (b) 共通の文化圏内における「結」の構築・・・輪を広げ、結ぶ

文化的なつながりを手がかりとして、市内外の各団体との交流や情報交換する機会を設け、広域的な文化交流圏の形成に努めます。



井波彫刻

##### ③ 南砺でしか存在できない独自の「結」の更なる発展

###### (a) 世界とつながる「結」の発展

南砺市独自の文化芸術が育む、文化的なオリジナリティをさらに進化させ、世界とつながる「結」が実現できるように努めます。

###### (b) 世代を超えた「結」・「伝統」の継承支援

世代間を超えた交流・話し合いの場を設け、伝統的祭事のあり方や今後の運営方法について協議する機会を検討していきます。

###### (c) 独自の食文化の継承・発展

新たな食文化の担い手がネットワークすることにより、地域外への発信力を高め、農や食を通じた文化交流を推進します。

#### (5) 文化芸術の下地を支える地域コミュニティの振興（文化芸術を利用した産業の活性化）

文化芸術が地域振興の起爆剤として活用できるよう、文化芸術振興と産業、コミュニティの活性化を結びつけられる取り組みを検討するとともに行政・民間の垣根を超えた協力体制を構築し、地域振興と交流人口の増加を目指します。

##### ① 新たな情報発信方法の創出

###### (a) 国際的なイベントを活用した新しい情報発信体制の構築

地域ごとの伝統文化と国際的な情報発信力、集客力を持つイベントを活用した PR 活動の展開を検討していきます。

###### (b) 文化芸術情報の一元化

各団体・町内・集落からも自由に情報発信できる仕組みを検討していきます。

###### (c) 情報発信力の強化

多様なメディアを組み合わせることによって、情報発信力の質と量を向上・拡大させ、より効果的な情報を外部に提供することを目指す取り組みを実施します。

##### ② 文化芸術を活かしたまちの活性化

###### (a) TOGA 国際芸術村構想アクションプランの推進

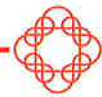
「TOGA アジアアーツセンター支援委員会」と一体となった取り組みを実現し、舞台芸術環境の機能強化を図ります。同時に、\*「TOGA クリエイティブビレッジ構想」を中心とした利賀地域の振興施策と連携し、地域と一体的な芸術村の整備を進めます。

###### (b) 「福野文化創造センター」「井波総合文化センター」「城端伝統芸能会館」との連携強化

本市における文化芸術活動の中心的な役割を担ってきた3館と本計画を共有し、それぞれの文化に活かせるような連携体制を構築していきます。

\*「TOGA クリエイティブビレッジ構想」  
地域資源を活用し、地域経済の循環と雇用創出を図り、持続可能で創造的な地域コミュニティの構築を目指すもの。





(c) 文化施設を活用したまちの活性化

既存の文化施設（井波美術館、斎賀邸、埋蔵文化財センター、城端曳山会館など）をまちの活性化に活用できるような取り組みを検討していきます。

③ 文化芸術で地域を潤す

(a) 文化の創造性を活かした新しいまちづくり

文化・産業・地域が一体となった連携体制を築いていく上で、「南砺幸せなまちづくり創生総合戦略」と連携し、文化芸術面から総合戦略の基本目標達成をサポートしていきます。

(b) 福光美術館 常設展・企画展の充実

常設展・企画展の更なる充実を図り、観光客だけでなく、市民のリピーターをより多く確保していくことを目指します。

(c) 「南砺市交流観光まちづくりプラン」との連携強化

文化の力による賑わいの創出を目指し、「南砺市交流観光まちづくりプラン」との密接な連携体制を築いていきます。

## IV 計画の推進

### 1. 推進主体

本計画の推進主体は市民・\*文化芸術活動団体・行政の3つです。それぞれがその特性を活かし、密接に連携しながらこの計画を推進していきます。

#### (1) 市民

自ら築いてきた文化に誇りを持ち、他の集落の文化にも関心を高め、集落や地域を超えた仲間と語りあう中で、文化を創造し、文化芸術活動を盛り上げていきます。

#### (2) 文化芸術活動団体

文化芸術活動団体は、市民に文化芸術活動への参加を促し、実践する機会を提供するとともに、祭事等の運営や伝承などの保護活動に努めます。

#### (3) 行政

行政は、文化芸術活動の担い手である市民の自主的な活動や、文化芸術活動団体の取り組みを支援していきます。相互交流の契機となることが期待される、集落や組織の壁を超えた多様な対話の場と機会の提供などの環境整備に努めます。

### 2. 推進体制 (図5)

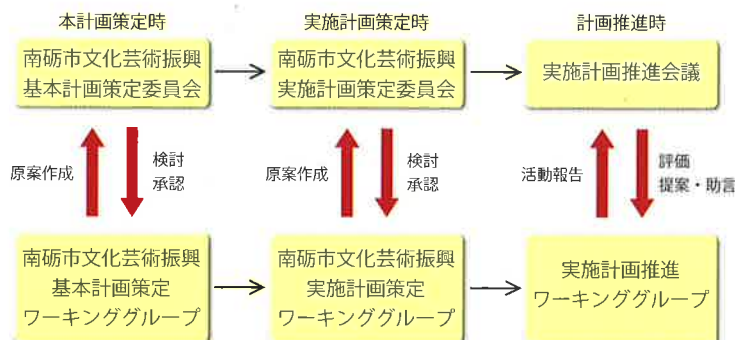
市民・文化芸術活動団体・行政の3つが連携して本計画を推進していくために、ワーキンググループと委員会を組織し、市民・文化芸術活動団体・行政関係者が協働しながら事業を進めていきます。

#### (1) 「南砺市文化芸術振興実施計画（仮）」策定委員会

「南砺市文化芸術振興基本計画」が実効性を持つためには、具体的な事業を検討することが必要です。そのため、「南砺市文化芸術振興実施計画」の策定委員会、その下部組織となるワーキンググループを立ち上げます。

#### (2) 実施計画推進会議

策定した実施計画を推進させるとともに推進状況の評価や計画に対する提案・助言を行う、「実施計画推進会議」を組織します。併せて事務局とともに実施計画の推進に実働的な役割を担う「実施計画推進ワーキンググループ」も組織します。



(図5) 実施計画策定・推進体制

\*ここでの文化芸術活動団体とは、本市内に事務局を置く協会、保存会、実行委員会、団体等を指すものとします。



---

## 南砺市文化芸術振興基本計画（概要版）

---

平成 28 年 4 月

南砺市ブランド戦略部

文化・世界遺産課

〒939-1892 南砺市城端 1046 番地

TEL：0763-23-2014 FAX：0763-62-2112

